落雷対策

温暖化対策としてのリスク・マネジメント

大都市の大量輸送を支える鉄道施設には、変電所、信号所、列車運行指令室、列車無線施設など多くの設備を要します。近年の天候異変では、特に都市部への落雷が増加しています。この鉄道施設では、落雷の影響を最小化するために色々な対策が取られ、安全、安心、安定した鉄道輸送の実現を目指しています。

LSS
Lightning Suppression Systems
株式会社 落雷抑制システムズ
【会社所在地】 〒220-8144 横浜市西区みなとみらい 2-2-1
横浜ランドマークタワー 44階 4406
【連絡先】 045-264-4110

落雷抑制　検索

http://www.rakurai-yokusei.jp

豪雨、落雷などの極端現象の増加に備えた万全な落雷対策

災害による損失の種類は、

- ❶ 人命の損失
- ❷ 公共サービスの損失
- ❸ 文化遺産の損失
- ④ 経済的価値の損失

❶❷❸の社会的価値の損失と④の経済的価値の損失に分類されます。

経済的損失からだけ考えて、コストパフォーマンスばかりを気にする場合が多いのですが、社会的損失はコストパフォーマンスだけで考えてはなりません。公共サービスの損失は、人口の密集した都市部で重要な役割を果たしている公共輸送に大きな影響を及ぼします。今、この影響を最小にするための取り組みが始まっています。

1. 地面に誘起された電荷を用いるため、電源は必要としません。
2. 保守についても、塩類の補給などの費用も手間もかかりません。
3. 効果は第三者認証機関「ビューローベリタス」が認証しています。
4. 日本で約 650カ所、世界で 2000台以上の実績があります。

落雷事故は、不可抗力の自然災害ではありません。

LSS
Lightning Suppression Systems
株式会社 落雷抑制システムズ
【会社所在地】 〒220-8144 横浜市西区みなとみらい 2-2-1
横浜ランドマークタワー 44階 4406
【連絡先】 045-264-4110

落雷抑制　検索

http://www.rakurai-yokusei.jp

LSS−SM−09 © 落雷抑制システムズ 2015/10　第 1 版　第 1 刷